

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	COCORO宇治小倉教室		
○保護者評価実施期間	2025年 11月 18日 ～ 2025年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	19
○従業者評価実施期間	2025年 11月 18日 ～ 2025年 11月 28日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11 (回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	町のスタンプラリーのイベントに出展したり、高齢者向けの活動に参加したり、世代を超えて地域との交流を深めています。	■地域のイベントに参加することで、自分たちの町にどのような取組があるのか知ってもらう機会にしています。 ■宇治市の美化活動にも毎月参加し、クリーン活動を通してお片付けの意識向上を目指しています。	地域の取組で学んだことを、教室の中や自分の家でも習慣化できるようにプログラムに組み込みます。
2	お友達の輪に入れないといった課題を吸い上げ、帰りの会にて、お友達の良さを見つけたり、お互いを知って、受け止められる機会を捻出しています。	COCOROでは、『礼儀・マナー・挨拶』をゲーム感覚で身につけられる“ごっこトレーニング”や、文字の練習・数の数え方など宿題補助のプログラムに力をいれて、子どもたちが助け合えたり、気持ちの整理や変化を感じやすくなる機会を作っています。	帰りの会の司会の担当を、手上げ制から当番制に変更し、みんなが主役になれる時間を設定し直しました。
3	登校拒否や宿題の理解度など、子どもたちの悩みに加えてご家庭からのご相談も支援させていただき、関係機関と連携し今後の対応を検討しております。	保護者様へは、連絡帳でその日の内容を記載しお渡しするとともに、別途お電話でも補足をさせていただいています。通常のお伝えで足りない判断された際は、家庭訪問や学校との情報共有をすすめて今後の対応を検討しています。	子どもたちの成長を敏感に捉えられるよう、連絡帳の共有内容は、いつもと違った様子から今日のMVP、難しかった取組など書くようにしており、保護者さまとの連携の向上も目指しています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者様同士の交流	長期休校日に、ご家族が参加できるイベントを企画しましたが、ご参加いただけただご家庭は少なかったため認知度が低く、要望も拾い切れなかったようです。	保護者様向けのイベントについて開催曜日や時間帯を幅広く取れるよう改善し、参加しやすくなるよう配慮していきます。
2	療育・運営の質向上による制度・ルール化	COCORO宇治小倉はオープンして2年目となり、子どもたちへの療育支援の向上だけでなく、スタッフの成長も目指している。オープン時と比較し制度化が増えていることから、スタッフの気持ちを汲みながら、ルールの定着をしていくことが急務。	優しいスタッフが多いことから、子どもたちに、してあげたい想いを強く持ってくれている。一方でルール化を進めていることから、子どもたちにも、スタッフにも制限がかかることも出てくる為、乖離が起きないように意見収集担当のスタッフ配置や毎月会議などで課題収集を行っています。
3	外出について	COCOROで外出はソーシャルスキルトレーニングの傾向が強いため、農場活動やお買い物体験や、クリーン活動など体験型の内容が多くなっていますが、保護者様との外出に対する考えに乖離があることが分かりました。	要望をいただいた公園や体育館で、自由に遊べる機会を検討します。